



PDX-1.600

モノラル・パワー・アンプ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。

規格

	PDX-1.600
14.4V定格出力 (20Hz~200Hz)	・ 4 Ω 負荷 ($\leq 1\%$ THD+N) 600W $\times$ 1 ・ 2 Ω 負荷 ($\leq 1\%$ THD+N) 600W $\times$ 1
最大出力	1500W
S/N比 (IHF A Weighted, 4 Ω 負荷)	110dBA
入力インピーダンス	10k Ω
周波数特性	20Hz (± 1 dB) ~ 200Hz (-3dB)
クロスオーバー周波数 (可変)	50~200Hz (-24dB/oct.)
サブソニックフィルター周波数	OFF/15Hz/30Hz 選択可能
入力感度 (10k Ω)	0.1~8.0V
使用電源	動作可能電源範囲: 11V~16V
アース方式	$\ominus$ アース
外形寸法	・ 幅 257mm ・ 高さ 62mm ・ 奥行 192mm
重量	3.11kg

● 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

● インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL:0570-006636

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用
頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636

● 電話受付時間 9:30~17:30(土日、祝日、弊社休業日を除く)



● 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。

FAX:048-662-6676

● アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Korea (Y-675)

68-08564Z36-A

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この説明書をよく読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしないでください。事故・ケガの原因になります。操作をする場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。

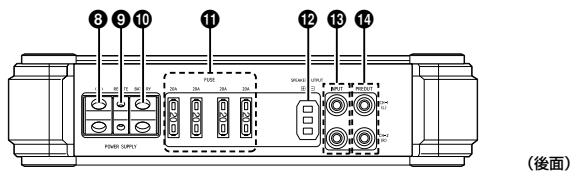
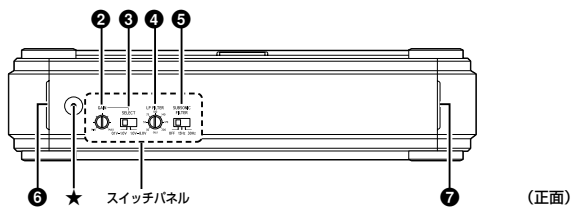
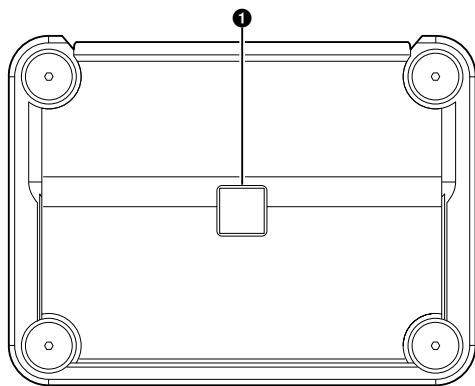


禁止

取り扱い上のご注意

- 本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない
雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。
- 大きな音量で聞きづづけると製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止してください。

各部の名称



- ・ 下記の②～⑤を設定するときは、六角レンチ（小/付属品）で★印の六角ネジを外し、ドアを開いてください。

① 電源インジケーター

- ・ 電源ONで点灯します。
- ・ 電源OFFで消灯します。

② 入力感度調整ツマミ

組み合わせるヘッドユニットの出力レベルと、本機の入力レベルとを合わせるためのツマミです。次の手順で調整します。

1. あらかじめ、③入力感度切替スイッチ を切り替えておきます。③ の位置によって、入力感度の調整範囲が異なります。

③入力感度切替スイッチ	調整範囲
0.1V - 1.0V	0.1 ~ 1.0V
1.0V - 8.0V	1.0 ~ 8.0V

2. 低音が強めに収録された、CD等の音源を用意します。
3. 音源を再生します。
4. ヘッドユニットの音量を一旦、徐々に上げていき、スピーカーの音を聴き取ります。
5. スピーカーの音の聴こえ方に合わせて、次のようにツマミを回します。



- ① 音量不足の場合
→ 右側に回します（音量が上がります）。
 - ② 音が歪んで聴こえる場合
→ 左側に回します（音量が下がります）。
6. 再び手順4、5を繰り返し、「音量不足でない/音が歪んでいない」状態になるまで、調整を行います。

③ 入力感度切替スイッチ

ヘッドユニット側の出力レベルに合わせて切り替えます。



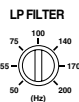
1. ヘッドユニット出力レベルが0.1～1.0Vの場合は、「0.1V - 1.0V」にセットします。



2. ヘッドユニット出力レベルが1.0～8.0Vの場合は、「1.0V - 8.0V」にセットします。

④ クロスオーバー周波数調整ツマミ（LP FILTER）

クロスオーバー周波数を50～200Hzの間で調整することができます。通常は100Hzを目安に合わせ、あとはお好みにより調整してください。



⑤ サブソニックフィルター切替スイッチ

1. サブソニック回路を通さない音質をお楽しみになりたいときは「OFF」にセットしてください。



2. 次の場合は「15Hz」にセットしてください。
 - サブウーハー（口径25cm以上）を接続したとき。
 - 「15Hz」をセットした方が歪み感が無くなるとき。
3. 次の場合は「30Hz」にセットしてください。
 - サブウーハーを除くスピーカー（口径25cm未満）を接続したとき。
 - 「30Hz」をセットした方が歪み感が無くなるとき。



サブソニックフィルターとは

- 超低域の音をカットし、スピーカー駆動ロスを軽減し、スピーカー破損も防止します。



- スイッチの切りかえは、必ず電源をOFFにして棒状のものをスイッチに対して垂直に挿入して行ってください。

⑦ 状態インジケーター

電源ON時に点灯します。

アンプの状態を下表のようにインジケーターの点灯状態により確認できます。電源OFF時に消灯します。

点灯状態	状態	処置
青色 点灯	—	アンプ回路は正常です。
—	点灯	アンプ回路に異常があります。ショートしているか、出力電流が過大になっています。
—	点灯	電源電圧が高すぎる状態です。
—	点灯	高温状態です。
—	点滅	高温のため、出力制限の状態になっています。
青色 点灯	—	一旦電源をOFFにして、異常原因を取り除きます。その後、電源をONにし青色点灯になったことを確認します。それでも青色点灯する場合は、電源をOFFし、お買い上げ店にご相談ください。
—	点灯	適正な電源電圧にします。
—	点灯	青色点灯になります。
—	点灯	車内温度を常温まで下げます。青色点灯になります。
—	点滅	車内温度を常温まで下げます。出力制限が解除され、青色点灯になります。

⑧ グランド（アース）端子

⑨ リモート端子

⑩ バッテリー端子

⑪ ヒューズ（20A×4）

⑫ スピーカー出力端子

スピーカーコードにスピーカープラグを組み込んだ後、スピーカープラグをこの端子に差し込みます。



- スピーカープラグは「奥までしっかり差し込んで」ください。差し込み方がゆるいと、車両の振動などにより外れてしまったり、接触不良になったりする場合があります。
- スピーカープラグの⊖極性表示は、どちらが上の方になっても差し支えありません。

⑬ 入力PINジャック

⑭ 出力PINジャック

このジャックからは、フルレンジのプリ出力が出ます。

はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取り付け説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本機には、次のコードは添付していません。
 - ・ バッテリー電源コード・リモートオンコード
 - ・ アースコード

1. 取り付け

作業準備

- 1 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。
おおよそのレイアウトを決め、コードの長さが十分か確認する。
- 2 取り付け場所を設定する。
トランク・ルームなどが最適です。
- 3 取り付け位置に印をつける。
- 4 ドリルで3mm 径以下の穴を開ける。

警告 穴を開けるときは、パイプ・配線類を傷つけない。

- 5 本機を取り付ける。

「積み重ね取り付け」について

- 本シリーズのアンプは、合計3台まで積み重ねての取り付けが可能です。取り付ける台数に合わせて、次のA～Cの説明を参照し取り付けてください。



- 「積み重ね取り付け」は、車のフロアに対して水平に設置した場合のみ可能です。
- 車のフロアに対して水平でなく、壁に立てかけたような状態での取り付けは行わないでください。もしもこのように取り付けした場合、保証いたしません。ご注意ください。



警告 接続端子部分についてのご注意

本機の接続端子の部分（電源端子、ヒューズ端子、スピーカー出力端子、PINジャックなど）には、他の物体（特に導通性のある物体）を近づけたり、接触させたりしないでください。ショートや事故の原因になります。



警告 通風孔・放熱板をふさがないでください。
火災・故障の原因になります。

A. 1 台のみ取り付けの場合

- 1 前項で開けた取り付け穴の上に本機を置きます。
- 2 本機の上面についている4個のトップキャップを、六角レンチ（大 / 付属品）でゆるめて外します。（図1 参照）

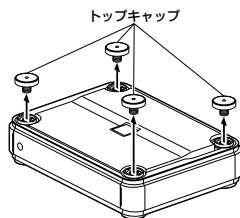


図1

- 3 4本のタッピング・ネジ（M4 x 40 / 付属品）で本機をしっかり固定します。（図2 参照）



● ネジ締めの際には、ネジの落下防止のため、磁石付きドライバの使用をおすすめします。

①タッピング・ネジ（M4 x 40）

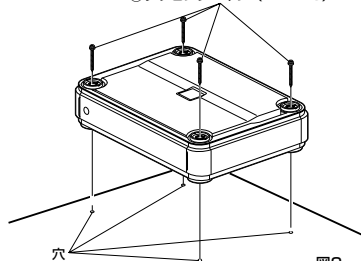


図2

- 4 4個のトップキャップを手で締めて取り付けます。

B. 計2台を積み重ね取り付けする場合

- 1 1台目のアンブを前項Aの手順1～3を参照して、しっかり固定します。
- 2 1台目のアンブの四隅に、4個のジョイントキャップを各2本のマシン・ネジ (M2.6 x 14/ 付属品) で取り付けます。(図3 参照)

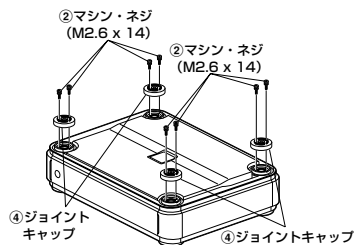


図3

- 3 1台目のアンブの上に2台目のアンブを積み重ねます。1台目のアンブのジョイントキャップと、2台目のアンブの脚の部分をかみ合わせるようにしてください。
- 4 2台目のアンブの上面についている4個のトップキャップを六角レンチ (大/ 付属品) でゆるめて外します。
- 5 4本のマシン・ネジ (M4 x 36/ 付属品) を4個のジョイントキャップのセンター穴にネジ込みます。(図4 参照)
これで、1台目と2台目が結合されました。

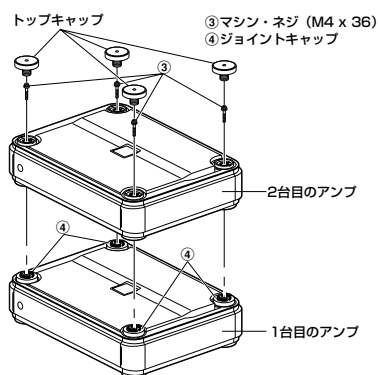


図4

- 6 2台目のアンブに4個のトップキャップを手で締めて取り付けます。

C. 計3台を積み重ね取り付けする場合

- 1 計2台のアンブを前項Bの手順1～5を参照して、しっかり固定します。
- 2 次に、3台目のアンブを前項Bの手順3～6の要領で、しっかり固定してください。
これで、計3台が結合され、積み重ね取り付けが完了しました。

2. 接続する

1 はじめに

- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。

2 バッテリーの端子を外す。



- コンピューターが装着されている車は、バッテリーの端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種(外国車など)では、バッテリーの端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。

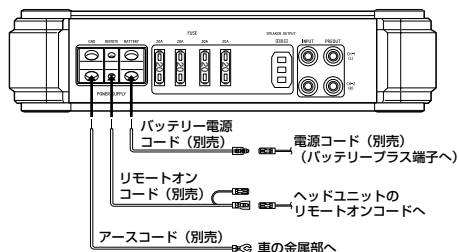
3 電源コードを接続する。



注意 正しい接続をする。



警告 取り付け・アース接続にはブレーキ類のボルト・ナットは使わない。



コードについて

コード名称	補足説明
リモートオンコード	ヘッドユニットなどのリモートオンコードと接続してください。
アースコード	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。
バッテリー電源コード	車側のバッテリーの端子に直接、接続してください。



- 車両雑音から守るために
 - ・アースコードを車体の金属部分に確実ににつなぐ。
 - ・バッテリー電源コードとPIN接続コードはできるだけ離す。
 - ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。
- 電源コードは、アンプ本体のヒューズ容量より大きいものを使用してください。

電源コードの配線について

- ワイヤーの先端をむいて使用する場合について説明します。



- 電源コードは先端をむかないと接続できません。

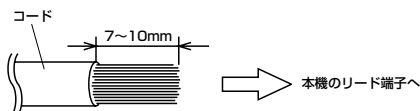
- この場合、六角ネジで取り付けます。できるだけ販売店での接続をお勧めします。
- お客様が接続される場合は、以下の説明をよくお読みになり、正しく行ってください。
- 接続の際は必ず、添付の六角ネジをお使いください。
- 安全のため、電源コードは最後に取り付けてください。
- コードを持って本機を持ち運ばないでください。コードが断線したり、本機が落下するおそれがあります。
- 電源コードには、バッテリーからすぐ近くの所に、必ずコードの容量に合ったヒューズを接続してください。

1 ワイヤーの太さを確認します。

[ご注意]

- 本機に使用できる電源ワイヤーのサイズは、AWG4のみです。
- 使用するワイヤーの太さがわからない時は、お買い上げ店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

2 コードの被覆(ビニールなどの絶縁部分)を7mmから10mmの長さにおいて、芯線(導体部分)を露出させます。

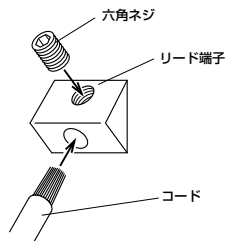


[ご注意]

- 露出部分が短すぎると、導通しません。本機が動作しなかったり、音が途切れたりする原因になります。
- 露出部分が長すぎると、ショートする場合があります。

3 本機に取り付けられている六角ネジをゆるめます。コードの芯線をリード端子に差し込み、六角ネジを六角レンチで固定します。

これでコードが固定されます。



4 しっかり接続したことを確認します。

4 ヘッドユニットを接続する。

5 スピーカーを接続する。

スピーカーコードの配線について

- 本機にスピーカーコードを配線する場合には、スピーカーコードにスピーカープラグを組み込む必要があります。次に組み込み方について説明します。

1 コードの太さを確認します。

[ご注意]

- 本機に使用できるスピーカーコードのサイズは、AWG8～AWG12となります。
- 使用するコードの太さがわからない時は、お買い上げ店にお問い合わせてください。

2 コードの被覆（ビニールなどの絶縁部分）を7mmから10mmの長さでむいて、芯線（導体部分）を露出させます。

[ご注意]

- 露出部分が短すぎると、導通しません。本機が動作しなかったり、音が途切れたりする原因になります。
- 露出部分が長すぎると、ショートする場合があります。

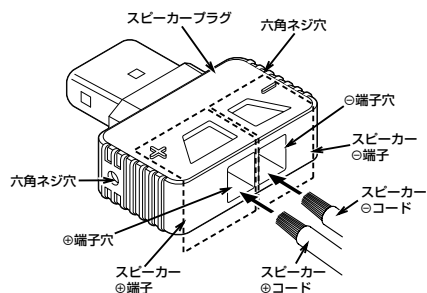
3 スピーカープラグの2ヶ所の六角ネジを六角レンチ（小/付属品）で十分にゆるめます。

4 スピーカーコードの芯線をリード端子穴に、奥まで差し込みます。

[ご注意]

- スピーカープラグの⊕⊖極性表示の通りに、スピーカーコードを差し込みます。
スピーカー⊕側には、スピーカー⊕コードを
スピーカー⊖側には、スピーカー⊖コードを差し込んでください。

5 2ヶ所の六角ネジを六角レンチ（小/付属品）で締め付けます。



3. 確認する

1 コード類を固定する。

警告 コードを挟まないように引き回す。

シートレールなどの可動部に配線を挟み込む、突起部に当たるなどして配線を傷めないようにしてください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。

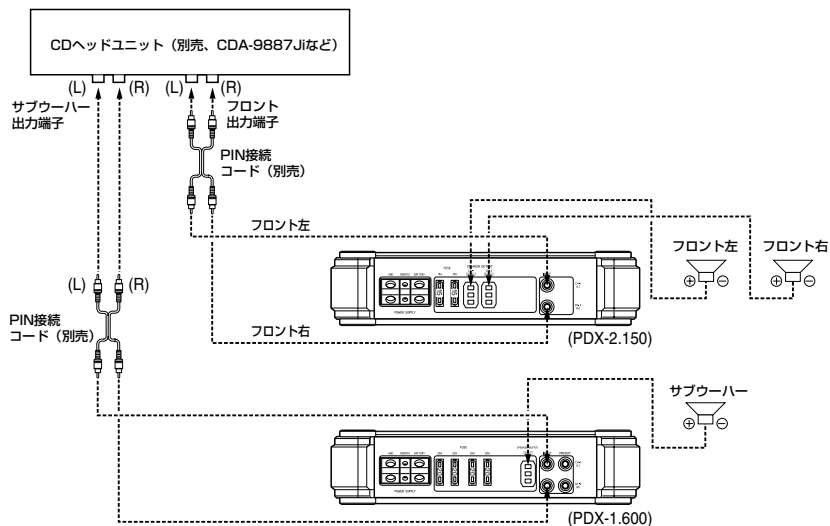
2 バッテリー⊖端子を接続する。

3 イグニッションキー／カーオーディオ電源をONにして、本機の動作が正しいこと（音が正しく出ているかなど）を確認する。

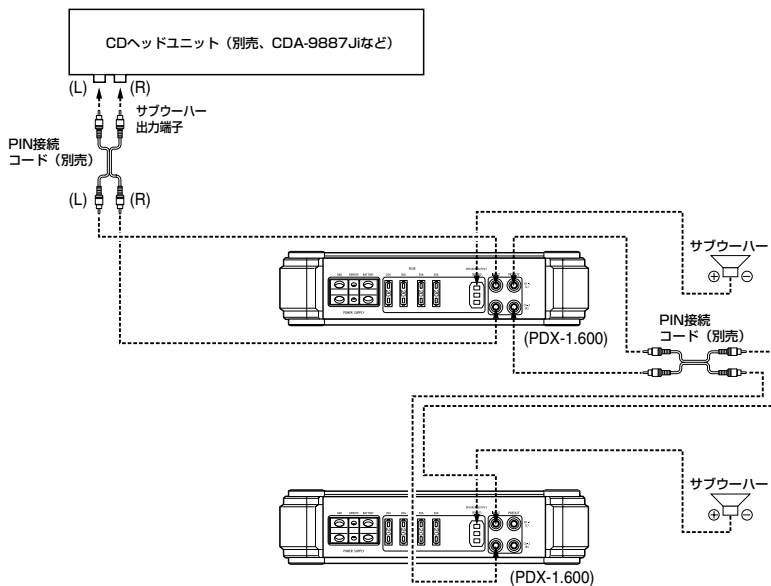
4 ホーン／ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

システムアップの例

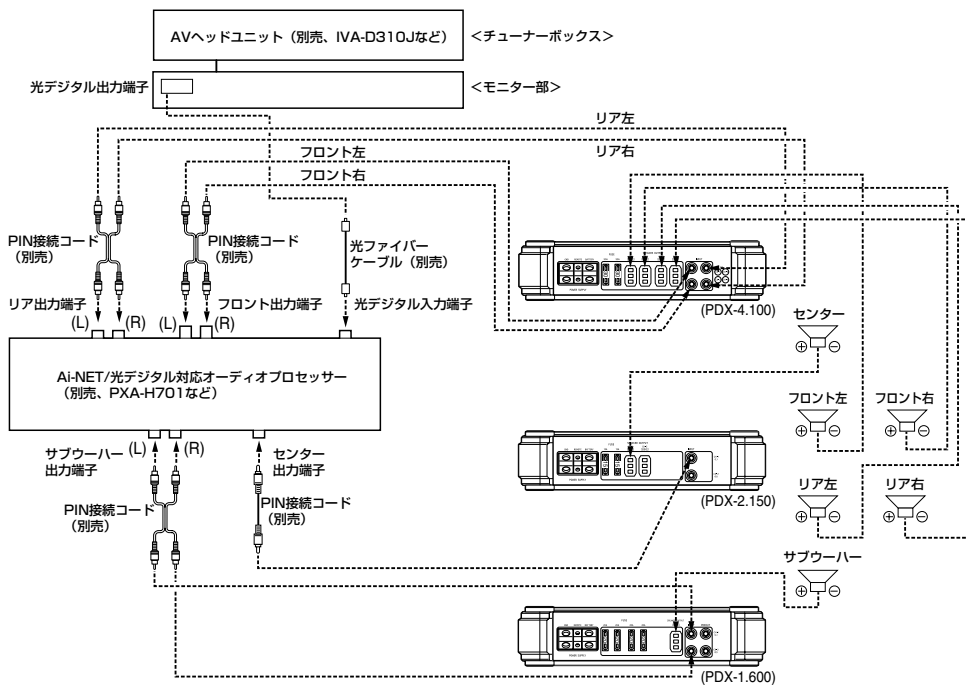
●3スピーカー・システム



●2サブウーハー・システム



●5.1チャンネル・システム



光ファイバーケーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。

- 光ファイバーケーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。(最小曲げ半径は、30mmです。)
- 光ファイバーケーブルに製品などを載せないでください。

こんなときには

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。
それでも調子が悪いときは、お買い上げ店またはお近くの「お問い合わせ窓口」（14 ページ）にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
動作しない。 ● 電源インジケータが点灯しない。 ● ヒューズが切れるなどの症状。	ヘッドユニットの電源が入っていない。	ヘッドユニットの電源を入れる。
	アースコードの接続が不完全。	アースコードの接続を確認する。
	バッテリー電源コードの接続が不完全。	バッテリー電源コードの接続を確認する。
	ヒューズが切れている。	所定容量のヒューズと交換する。
	リモートオンコードの接続が不完全。	リモートオンコードの接続を確認する。
	スピーカー配線がショートしている。	スピーカー配線を交換する。
電源は入るが、音が出ない。	PIN 接続コードの接続が不完全。	INPUT 端子に正しく挿入する。
	スピーカー配線が不完全。	スピーカー配線の接続を確認する。
	入力感度調整ツマミの位置がシステムに合っていない。	システムに合わせて正しい位置にする。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または「お問い合わせ窓口」（14 ページ）にあるお近くの修理ご相談窓口にて、修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、またはお近くの「お問い合わせ窓口」（14 ページ）にお問い合わせください。

付属品

品 名	数 量
タッピング・ネジ (M4 × 40、6 ページ図 2 の① 参照)	4
マシン・ネジ (M2.6 × 14、7 ページ図 3 の② 参照)	8
マシン・ネジ (M4 × 36、7 ページ図 4 の③ 参照)	4
ジョイントキャップ (7 ページ図 3、4 の④ 参照)	4
スピーカーブラグ	1
六角レンチ	1 式
取扱説明書類	1 式

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様>

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 9:30~17:30

(土日、祝日、弊社休業日を除く)

- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。

FAX:048-662-6676

- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販売名	電話番号	住所	担当 都道府県
北日本エリア 仙台オフィス 札幌オフィス 郡山オフィス	022-239-5331 011-621-4485 024-925-3811	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東3-3-3 〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字士布池11番5号	宮城県 / 山形県 / 秋田県 / 青森県 / 岩手県 北海道全域 福島県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-26-0783 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0487 長野県松本市笹部1丁目3番7号オフィスGB205号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県(大井川以東)
中部圏エリア 中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) / 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス	086-243-8257 082-846-1175	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号	岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 徳島県 / 香川県 / 愛媛県 広島県 / 山口県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-671-9400	〒601-8101 京都府京都市南区上鳥羽高島町88-2	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

修理ご相談窓口

名 称	電話番号	住 所
北海道		
西島家電商事札幌店	011-762-0458	F001-0925 札幌市北区新川5条2丁目3-18
北政電子(株)	011-661-2414	F063-0033 札幌市西区野3条3丁目5番地1号
輪島電装(株)	0138-48181	F041-0824 函館市西結町168番地2
千代田電装工業(株)	0166-22-9451	F070-0034 旭川市西条通2丁目8-9・10
(有)北網通信特機	0157-61-3843	F090-0058 北見市高木西町6丁目4番4号
青森県		
(有)三富電装	0178-29-4410	F039-1163 八戸市高州2丁目23-16
岩手県		
(有)交通電機商事	0196-87-1561	F020-0172 若手郡滝沢村鶴野字上高郷64
秋田県		
管電装	0188-68-2761	F010-0802 秋田市外川1字高谷場212-2
山形県		
カーサウンドサイトー	0236-24-8953	F090-2321 山形市桜田西3丁目4-7
(有)山王電子サービス	0234-22-1832	F998-0841 酒田市松原南21-4
宮城県		
(株)日本電機サービス(仙台)	022-254-4531	F983-0005 仙台市宮城野区榴室字産興35
(有)サキサウンド	022-348-3633	F981-3341 黒川郡富谷町成田2丁目3-3
(合)佐々木電化商会	022-362-4332	F985-0045 釜ヶ崎市玉川111-20
大岳日電機	0225-22-4996	F986-0833 石巻市日方小4-1・10
フジ電装	0229-23-8266	F989-6143 古川市巾着1丁目12番5号
福島県		
(有)長南電機	0245-45-5161	F960-8153 福島市黒岩岩の後51-1
友広通信特機サービス	0249-43-5876	F963-0101 郡山市安積町日出山1丁目95-3
エントー電機システムズ	0249-52-8417	F963-8035 郡山市希望ヶ丘10-20
(株)オートデンソーマルヤマ		
(郡山店)	024-945-5388	F963-0111 郡山市安積町荒井字ハ丁5-2
(会津支店)	0242-24-1717	F965-0025 会津若松市扇町101
(白河店)	0248-23-4555	F961-0076 白河市五軒川町50番地の1
茨城県		
(株)日本電機サービス(茨城)	0292-47-3231	F310-0844 水戸市住吉町64
(株)デンソー東京(水戸千波支店)	0292-43-0516	F310-0851 水戸市千波町2345-13
栃木県		
(株)日本電機サービス(栃木)	028-648-6291	F320-0851 宇都宮市鶴田11362-2
サウンドサービス	028-653-8623	F321-0131 宇都宮市内の1-173-38
群馬県		
(株)日本電機サービス		
(北関東)	0276-46-5885	F373-0818 太田市小舞木町377
長野県		
県田電子サービス	0263-53-6723	F399-0705 塩尻市広丘聖石2146-339
新潟県		
(有)ムツミ電装	025-285-1919	F950-0964 新潟市朝日川2-43-6
(株)丸山電機	0258-27-0009	F940-2112 長岡市大島本町51-18-10
東京都		
アース電機(株)	03-3758-7821	F146-0095 大田区多摩川2-9-17
アライ電機産業(株)	03-3925-1602	F179-0075 練馬区高松6-33-14
(株)日本電機サービス(東京)	03-3395-3681	F167-0042 杉並区西武北1-8-20
(有)キャリアーサービス	03-3671-7001	F124-0021 葛飾区堀田3-3-4
三共無線(有)目黒営業所	03-3719-3525	F153-0042 目黒区青葉台1-27-15
(有)テクニカルサービス	03-3558-7008	F115-0051 北区浮間2-6-10
(株)日本電機サービス(本社)	0425-58-7773	F197-0803 あきる野市瀬戸町255
叶電機	0425-51-9350	F197-0011 福生市福生2241番地 P108号
ALサンライズ	0428-32-6977	F198-0024 青梅市新町5-3-2
神奈川県		
(株)日本電機サービス		
(神奈川)	045-853-2510	F241-0031 横浜市旭区今宿西町255
関東電子サービス(株)	045-834-9091	F226-0023 横浜市緑区小山町292-7
(株)エルフエレクトロ	045-242-0029	F220-0022 横浜市西区花畑町41丁目116番地
埼玉県		
(株)日本電機サービス(埼玉)	048-651-2327	F330-0033 さいたま市大郷町1135-1
千葉県		
(株)日本電機サービス(千葉)	043-216-0580	F262-0003 千葉市花見川区宇都宮町1501-1
静岡県		
(株)日本電機サービス(静岡)	054-247-2522	F420-0804 静岡市電南1-16-1
三和電子サービス(株)	053-595-3232	F431-0302 浜名郡新根町新根3358-12

(般)

名 称	電話番号	住 所
愛知県		
(株)日本電機サービス	052-702-1071	F465-0067 名古屋市長久保猪苗町
(名古屋)		大字高針字メソノ10-1
(株)センテック(ヤシ)	052-881-3400	F466-0059 名古屋市昭和区嘉3丁目1-40
名屋電機(株)	052-761-5306	F466-0853 名古屋市昭和区八原通り1-2
(有)名電機器商会	052-241-9797	F460-0007 名古屋市北区新沢3-12-1
渡辺電機商会	052-914-3321	F462-0023 名古屋市北区安井11-1-1
牧サービス電機	052-793-6844	F463-0081 名古屋市守山区川宮町394-1
(有)前田電機	052-561-5110	F451-0051 名古屋市西区別荘町2丁目25番地6号
(有)サカタ電機	052-805-7887	F468-0031 名古屋市白土区高宮町1605番地2
(有)横井計器	0562-48-5223	F474-0072 大府市北山町4丁目77番地
フジサウンド(株)	0587-55-8511	F483-8222 江南市赤薙字町藤島41
三重県		
FIX	0593-80-3134	F510-0244 鈴鹿市白子町字北新田1896-1
(有)今尾電機	0593-82-1287	F513-0816 鈴鹿市南玉理町5434-1
富山県		
ナカノ商会	0766-54-1585	F939-0413 射野水大門町車田1268
石川県		
辰口電機	0761-51-2498	F923-1201 能登郡穴町宮内口75-2
福井県		
(株)パーメンテサービス	0776-35-8182	F918-8015 福井市花薺町1丁目5-4
滋賀県		
遊賀オーディオサービス	0748-55-2070	F529-1541 膳所市膳所町膳生堂338-78
京都府		
洛西電子	075-331-4847	F610-1153 京都市西京区大原野南春日町388
電装電機(株)	075-821-5843	F602-8365 京都市上京区丸太町前通上ル
ヤハタ電機	0774-21-5736	F611-0013 宇治市釜通下08番地の11-30
大阪府		
(株)日本電機サービス(関西)	06-6827-0601	F533-0001 大阪市東淀川区井高野4丁目6-27
サンコーオーディオ	06-6768-0597	F540-0005 大阪市中央区上町1丁目11-3
タツミ電気商会		
フジオオーディオサービス	06-6573-3605	F552-0007 大田市港津区3-1-4
	0722-23-8695	F590-0074 堺市北花田町11-2-27
和歌山県		
ミナト電機商会	0734-23-0681	F640-8251 和歌山市南中郷町48
奈良県		
エルフ(株)	0742-36-8700	F630-8132 奈良市大森西町21-26
兵庫県		
ニシオサービス	079-652-1099	F652-0873 神戸市兵庫区金平町1丁目32-9
兵庫電子サービス	079-652-3646	F652-0834 神戸市兵庫区本町1丁目1-8
(株)縮通電子	078-302-6615	F650-0046 神戸市中央区港島中町3丁目2-1
太子電器	0792-77-3703	F671-1523 揖保郡太子町東南南小川1647-3
岡山県		
中田電器	086-263-9146	F702-8058 岡山市並木町2丁目8-17
広島県		
(有)北洋電子	082-291-6537	F733-0012 広島市西区中広町2丁目23番4号
(有)仲栄サービス	0849-31-3761	F721-0966 福山市手城町1丁目2-31
香川県		
(有)松岡電機サービス	087-843-1040	F761-0102 高松市新田町470-11
愛媛県		
(有)増田電機サービス	0899-57-3174	F791-1112 松山市南高井町1982-3
徳島県		
みの電子パーツ(株)	088-855-5958	F770-0804 徳島市中吉野町2丁目18-2
高知県		
(株)シキデン	0888-83-5101	F780-0056 高知市北本町3-10-39
福岡県		
(株)日本電機サービス(福岡)	092-441-7858	F816-0092 福岡市博多区東郷町2丁目14-26-1
中元電器	0948-22-4830	F820-0011 飯塚市大字杵の森13-67
久米米音響サービス	0942-21-3781	F830-0052 久米市上津町1651-2
佐賀県		
佐賀テクニカルサービス	0952-33-5343	F849-0932 佐賀市鍋島町大字戸八町125-13
大分県		
福岡電機サービス	097-503-1558	F870-0136 大分市山津町2丁目5-35
熊本県		
大坂電機	096-372-1403	F860-0811 熊本市本庄2-3-22
長崎県		
島原無線	0957-64-0821	F855-0801 島原市島高2-7208
(有)野中電機	0956-58-6494	F859-3241 佐世保市有福町576-1

